

自立活動アセスメントシートVer.3について

1 自立活動アセスメントシートVer.3とは

○自立活動アセスメントシートVer.3は、平成26年度から活用の自立活動アセスメントシートを、平成29年度公示の新学習指導要領を踏まえて改訂したものです。自立活動を主観点として、児童生徒の実態把握を深め、根拠を明確にし、目標設定の検討や指導方法の改善など、自立活動の指導の充実を目指しています。

Ver.3の主な特徴は次のとおりです。

- ・自立活動(6区分27項目)の6区分ごとに実態把握シートが分かれています。「5 身体の動き」については、指導の更なる充実を目指すため、別紙として「上肢の動きのチェックシートVer.2」を加えています。
- ・各区分の項目に応じて、肢体不自由を重点とした実態把握の内容を設定しています。教育課程にかかわらず、本校の多様な児童生徒実態に応じられるよう幅の広い内容を設定しています。
- ・実態把握シートの記入については、全ての内容ではなく、児童生徒の実態に応じて、課題設定の必要や指導上の留意点があれば、該当の内容のみ記入します。
- ・実態把握の内容をあらかじめ設定することにより、校内の肢体不自由教育に係る専門性の向上を目指します。
- ・設定された実態把握の内容を継続的に確認することにより、児童生徒の学習状況の評価や今後の見通しの検討に取り組みやすくなります。

作成に当たり、主な引用及び参考文献は次のとおりです。

特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編(幼稚園・小学部・中学部)(文部科学省 平成30年)、医療的ケアハンドブック(広島県教育委員会 平成19年)、肢体不自由(運動障害)のある生徒等のためのアセスメント(広島県教育委員会 平成28年)、自立活動学習内容要素表(長崎自立活動研究会 平成22年)

2 自立活動の内容について(6区分) ※各区分での項目ごとの意味は、シートに示しています。

「1 健康の保持」・・・生命を維持し、日常生活を行うために必要な健康状態の維持・改善を身体的な側面を中心として図る観点からの内容

「2 心理的な安定」・・・自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する意欲の向上を図り、自己のよさに気付く観点からの内容

「3 人間関係の形成」・・・自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を培う観点からの内容

「4 環境の把握」・・・感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できるようにする観点からの内容

「5 身体の動き」・・・日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができるようにする観点からの内容

「6 コミュニケーション」・・・場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができるようにする観点からの内容

3 記入の仕方について

○ 実態のチェックの付け方(実態把握シート)

「ある・ない」、「ある・ない・不明」、「一定・変動」、「好む・好まない」等 → 状態が見られるか、見られないかで判断します。

「◎・○・△・□」 → ◎・・・ほぼできる、常に見られる、一人でできる (8～10割)
 ○・・・おおよそできる、半分以上の支援でできる、おおよそ見られる (できる>できない、見られる>見られない)
 △・・・時々できる、半分以上の支援があればできる、時々見られる (できる<できない、見られる<見られない)
 □・・・できない、見られない

○ 記述欄の書き方(実態把握シート) → ()や該当の欄に、シートの文言等に従って、児童生徒の具体的な様子を記入します。特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編(幼稚園・小学部・中学部)(文部科学省 平成30年)(第6章 自立活動の内容)が参考になります。具体的な様子が複数行になり、セルにおさまらない場合は、セルの高さを伸ばして書式を調節してください。文字のフォント数があまり小さくならないようにします。

○ 実態把握シート → 課題の抽出・関連整理シート(関連の整理の図式化作業を含む) → 自立活動年間指導目標、の順に記入します。

○ 「自立活動年間指導目標」及び「各シート」の学部・学年・児童生徒氏名等の編集はヘッダーの編集で行います。

4 記入例

(1) 生活のリズムや生活習慣の形成

タブにあるいくつかの選択肢の中から該当するものを選んでクリックします。

→ 体温の調節、覚醒と睡眠など健康状態の維持・改善に必要な生活のリズムを身に付けること、食事や排泄などの生活習慣の形成、衣服の調節、室温の調節や換気、感染予防のための清潔の保持など健康な生活環境の形成を図ること

内容		実態	
覚醒と睡眠のリズム	日中は目覚めている	○	週明けは午前中寝ることが多い
	夜は眠れている(時間、質)	△	睡眠が浅く1～2時間ごとに目が覚める
	覚醒が下がる時間	一定	給食後に少し眠る
体力	病気による欠席日数	年間 日	どのように
	一年間で体調を崩しやすい時期、月	ある	季節の変わり目ごとに膝・腰・足首など痛みが出たりする

実態の記入をする場合は、該当の内容及び実態のセルを塗りつぶして色を着けます。